

1 普通交付税総額（普通交付税＋臨時財政対策債）

(1) 県分

(単位：百万円，%)

区 分	令和3年度 a	令和2年度 b	増減額 c (a-b)	増減率 c/b
基準財政需要額 A	506,839	496,280	10,559	2.1
基準財政収入額 B	244,435	279,343	▲34,908	▲12.5
普通交付税総額 A-B	262,404	216,937	45,467	21.0
普通交付税額	185,803	173,702	12,101	7.0
臨時財政対策債	76,601	43,235	33,366	77.2

(2) 市町分

(単位：百万円，%)

区 分	令和3年度 a	令和2年度 b	増減額 c (a-b)	増減率 c/b
基準財政需要額 A	683,315	668,262	15,053	2.3
基準財政収入額 B	416,445	430,872	▲14,427	▲3.3
普通交付税総額 A-B	266,870	237,390	29,480	12.4
普通交付税額	192,564	186,238	6,326	3.4
臨時財政対策債	74,306	51,152	23,154	45.3

※ 百万円単位で四捨五入しているため、計等において一致しない場合がある。

2 普通交付税総額（普通交付税＋臨時財政対策債）の推移

(単位：百万円，%)

年度	県 分			市 町 分			主 な 増 減 要 因
	普通交付税 総 額	増減額	増減率	普通交付税 総 額	増減額	増減率	
R3	262,404	45,467	21.0	266,870	29,480	12.4	(県 分) 地域デジタル社会推進費の増 厚生労働費の増，法人事業税の減 (市町分) 地域デジタル社会推進費の増 税収の減
R2	216,937	7,519	3.6	237,390	▲1,772	▲0.7	(県 分) 幼児教育・保育の無償化 (市町分) 税収増，幼児教育・保育の無償化
R元	209,418	▲15,440	▲6.9	239,162	▲6,285	▲2.3	(県 分) 土砂災害防止法に基づく基礎調査 件数の減，税収の増 (市町分) 税収の増，合併算定替縮減
H30	224,434	2,637	1.2	244,876	▲431	▲0.2	(県 分) 法人関係税減 (市町分) 固定資産税増，合併算定替縮減
H29	221,797	▲18,900	▲7.9	245,307	8,190	3.5	教職員給与負担権限の移譲，税収の増

3 市町別の普通交付税総額(普通交付税+臨時財政対策債)

(単位：百万円，%)

区分	令和3年度			令和2年度			対前年度増減						普通交付税総額の主な増減理由
	基準財政 需要額 A	基準財政 収入額 B	普通交付 税総額 C (A-B)	基準財政 需要額 a	基準財政 収入額 b	普通交付 税総額 c (a-b)	基準財政需要額		基準財政収入額		普通交付税総額		
							増減額 A-a	増減率 A/a	増減額 B-b	増減率 B/b	増減額 C-c	増減率 C/c	
広島市	290,505	200,485	90,020	282,882	209,118	73,764	7,623	2.7	▲ 8,633	▲ 4.1	16,256	22.0	需要 高齢者保健福祉費，社会福祉費の増 収入 法人税割，所得割の減
呉市	48,540	26,119	22,420	48,591	27,711	20,880	▲ 52	▲ 0.1	▲ 1,592	▲ 5.7	1,540	7.4	需要 地域振興費の増，公債費(合併特例債償還費)の減 収入 法人税割，所得割の減
竹原市	6,537	4,684	1,852	6,358	3,456	2,902	178	2.8	1,228	35.5	▲ 1,050	▲ 36.2	需要 地域振興費，地域デジタル社会推進費の増 収入 固定資産税(償却資産)の増
三原市	24,013	12,334	11,679	24,153	12,745	11,408	▲ 140	▲ 0.6	▲ 411	▲ 3.2	271	2.4	需要 下水道費，公債費(財源対策債償還費)の減 収入 法人税割，所得割の減
尾道市	32,173	15,626	16,547	31,386	16,362	15,024	786	2.5	▲ 736	▲ 4.5	1,523	10.1	需要 地域振興費の増 収入 所得割，法人税割の減
福山市	88,801	63,872	24,929	86,191	64,930	21,262	2,609	3.0	▲ 1,057	▲ 1.6	3,667	17.2	需要 高齢者保健福祉費，地域振興費の増 収入 法人税割，所得割の減
府中市	10,861	4,370	6,492	10,646	4,700	5,946	215	2.0	▲ 331	▲ 7.0	546	9.2	需要 高齢者保健福祉費，地域デジタル社会推進費の増 収入 法人税割の減
三次市	20,512	6,556	13,956	20,311	6,682	13,629	200	1.0	▲ 127	▲ 1.9	327	2.4	需要 地域デジタル社会推進費，高齢者保健福祉費の増 収入 所得割，地方消費税交付金の減
庄原市	16,934	4,179	12,755	16,538	4,304	12,233	396	2.4	▲ 126	▲ 2.9	522	4.3	需要 地域デジタル社会推進費，公債費(合併特例債償還費)の増 収入 所得割，地方消費税交付金の減
大竹市	6,500	4,442	2,058	6,323	4,588	1,735	177	2.8	▲ 146	▲ 3.2	323	18.6	需要 地域デジタル社会推進費，地域振興費の増 収入 所得割の減，法人税割の減
東広島市	38,672	30,689	7,984	37,874	32,039	5,835	798	2.1	▲ 1,351	▲ 4.2	2,149	36.8	需要 高齢者保健福祉費，包括算定経費(人口)の増 収入 所得割，法人税割の減
廿日市市	25,672	14,242	11,430	24,896	14,561	10,335	776	3.1	▲ 319	▲ 2.2	1,095	10.6	需要 地域振興費，高齢者保健福祉費の増 収入 所得割，法人税割の減
安芸高田市	11,668	3,591	8,077	11,562	3,652	7,910	105	0.9	▲ 61	▲ 1.7	166	2.1	需要 地域振興費，地域デジタル社会推進費の増 収入 所得割，地方消費税交付金の減
江田島市	8,480	2,420	6,060	8,472	2,493	5,979	7	0.1	▲ 73	▲ 2.9	81	1.3	需要 地域デジタル社会推進費の増，公債費(過疎対策事業債償還費)の減 収入 所得割，地方消費税交付金の減
府中町	8,804	6,333	2,471	8,358	6,481	1,877	446	5.3	▲ 149	▲ 2.3	594	31.7	需要 高齢者保健福祉費，包括算定経費(人口)の増 収入 所得割，固定資産税(償却資産)の減
海田町	5,700	4,006	1,694	5,385	4,043	1,343	315	5.8	▲ 36	▲ 0.9	351	26.2	需要 包括算定経費(人口)，社会福祉費の増 収入 所得割，固定資産税の減
熊野町	5,097	2,403	2,694	4,892	2,427	2,466	204	4.2	▲ 24	▲ 1.0	228	9.3	需要 高齢者保健福祉費，包括算定経費(人口)の増 収入 法人税割，固定資産税の減
坂町	3,239	1,886	1,353	3,100	2,017	1,083	139	4.5	▲ 131	▲ 6.5	270	24.9	需要 包括算定経費(人口)，地域デジタル社会推進費の増 収入 法人税割，所得割の減
安芸太田町	4,731	866	3,865	4,970	884	4,086	▲ 238	▲ 4.8	▲ 17	▲ 1.9	▲ 221	▲ 5.4	需要 社会福祉費，公債費(過疎対策事業債償還費)の減 収入 所得割，固定資産税の減
北広島町	8,987	2,915	6,072	8,786	3,003	5,783	201	2.3	▲ 88	▲ 2.9	289	5.0	需要 地域デジタル社会推進費，包括算定経費(人口)の増 収入 法人税割，所得割の減
大崎上島町	3,976	1,176	2,800	3,915	1,340	2,575	61	1.5	▲ 164	▲ 12.2	224	8.7	需要 地域デジタル社会推進費の増 収入 固定資産税(償却資産)の減
世羅町	6,724	2,048	4,676	6,681	2,124	4,557	43	0.6	▲ 75	▲ 3.6	119	2.6	需要 地域デジタル社会推進費の増 収入 所得割，法人税割の減
神石高原町	6,190	1,202	4,988	5,990	1,211	4,779	200	3.3	▲ 9	▲ 0.8	209	4.4	需要 地域デジタル社会推進費，高齢者保健福祉費の増 収入 所得割，固定資産税の減
計	683,315	416,445	266,870	668,262	430,872	237,390	15,053	2.3	▲ 14,427	▲ 3.3	29,480	12.4	
広島市を除く	392,810	215,960	176,850	385,380	221,754	163,626	7,430	1.9	▲ 5,794	▲ 2.6	13,224	8.1	

※百万円単位で四捨五入しているため，計等において一致しない場合がある。
 ※基準財政需要額は，臨時財政対策債振替相当額を含む。